

旧奈良監獄保存・活用事業

事業概要

公共施設等運営権（コンセッション）制度を活用して、重要文化財「旧奈良監獄」の保存・活用を行う事業

《事業内容》

- ① 文化財建造物の耐震改修，公開活用のための設備の整備
- ② 史料の整理，展示，案内等の史料館運営
- ③ 文化財の保存に支障がない範囲で，史料展示業務に直接利用しない部分（土地を含む。）を活用した付帯事業の提案が可能

《旧奈良監獄》

- ・明治政府が監獄の国際標準化を目指して計画した五大監獄（千葉，長崎，鹿児島，金沢，奈良）の一つで，唯一現存。
- ・歴史的価値が高く，意匠的にも優秀との評価（平成29年2月重要文化財指定）
- ・山下啓次郎（司法省営繕課長）設計



＜庁舎＞



＜表門＞

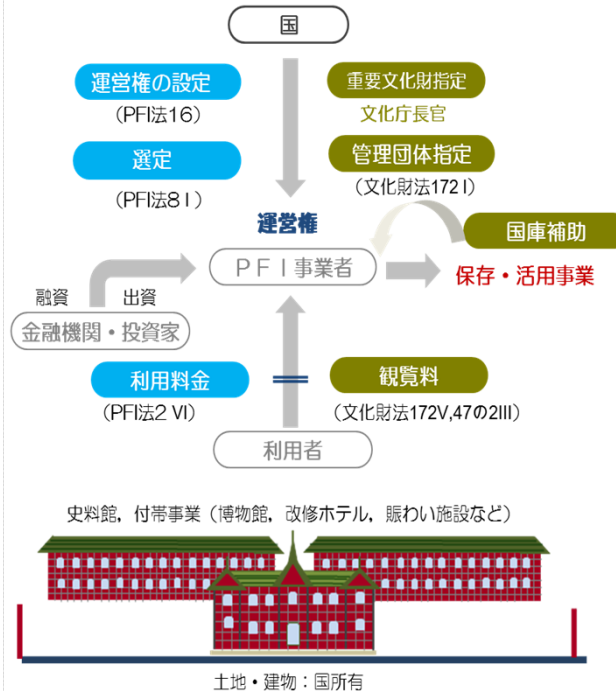
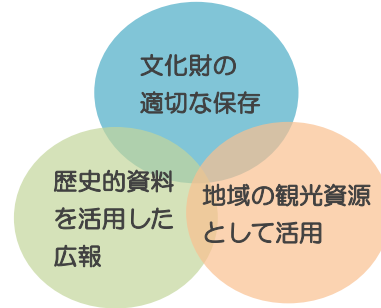


＜中央看守所＞



＜舎房＞

～ 文化財の保存と活用の調和を図った
国有文化財活用の画期的事業 ～



優先交渉権者

ソーレグループ



[耐震改修]
清水建設

日本診断設計

[史料館運営]

東急コミュニティー

小学館集英社プロダクション

[付帯事業]

ソーレ ホテルズ アンド リゾーツ

セイタロウデザイン

近畿日本ツーリスト

JAG国際エナジー



今後の予定

平成29年 8月 実施契約締結

平成31年10月 史料館運営開始

歴史と文化を未来につなぐ「体験型複合施設」を創出します

宿泊・食事・ショッピング・音楽、エンターテインメント等、様々なコンテンツが揃え、まるで“ひとつの街のような空間”として本施設を整備していきます。

人々の趣味嗜好が多様化された時代に合わせて、興味・関心のきっかけを幅広く用意し、より多くの人に、日本の行刑・矯正と近代化の歴史を伝えていきます。

さまざまな観光ニーズに応える

1 「3つの宿泊スタイル」

文化財リノベーションホテル

ホテルコンセプト

「生きた歴史」を未来へ繋ぐ体験型宿泊空間

旧監獄棟をリノベーションし、歴史的な重厚さは守りつつ、“ホテルとして快適である”空間を提供していきます。



(約150室)

新設ホテル

ホテルコンセプト

歴史を見つめ、歴史を紡ぐ、新時代のステージ

重要文化財を眺める特等席であること。既存棟との関係性を重要視し、さまざまな方向から美しい煉瓦建築の建物を眺められるビューを確保すると共に、このホテル自体が施設全体の景観を高められるデザイン性を持たせます。



(約80室)

簡易宿泊型ドミトリー(MUJI HOSTEL)

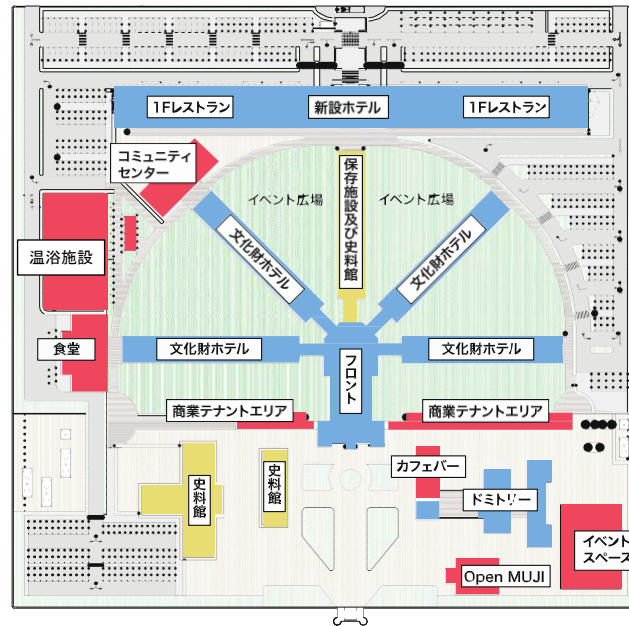
ホテルコンセプト

世界中の若者を刺激する文化と多様性の体験拠点

国内外で広く知られる「無印良品」ブランドのホステルを設置します。キッチンなどを完備し、長期宿泊に対応すると共に、文化的コミュニティを育むカフェバーや、工房・アトリエなども同時に整備することで、アート活動や伝統工芸体験を支援していきます。

(約60床)

[本施設全体イメージ]



生きた歴史を未来へと繋ぐ

2 「建築行刑史料館」

旧奈良監獄が担ってきた役割と、日本の行刑・矯正の歴史を伝えていくための史料館を整備。本施設の設計者である山下啓次郎氏のストーリーを軸とすることで、法務行政へ馴染みの薄かった若者世代や外国人の人に対しても分かりやすい展示を行っています。



[史料館が担う役割]

- 観光として魅力あるコンテンツの提供
- 子どもたちに向けた正しい法教育の実施
- 歴史的史料のアーカイブ化と保存・管理、貸し出し

地産地消にこだわった

3 「レストランエリア」

奈良の工芸品や雑貨を取り揃えた

4 「商業テナントエリア」

ランニングステーション機能を持った

5 「天然温泉の温浴設備」

体験型観光を提供する

6 「コミュニティ空間」

Open MUJI(ラウンジ・共同工房・アトリエ)

JAZZ&日本酒カフェバー

施設全体の活気を生み出す

7 「イベントスペース」